

週刊金曜日

2009 11 | 20 776号
毎週金曜日発売 定価500円

インフルエンザを 吹き飛ばせ

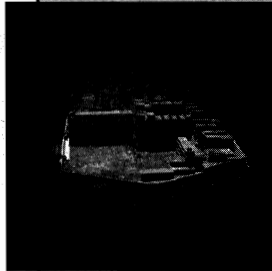


「文化」資源としての〈炭鉱〉展 美術

戦後社会の高度経済成長を支えた炭鉱を、視覚芸術はいかにとらえ、どのように表現し、現在にどのような炭鉱イメージをもたらしたか。本展では、炭鉱と視覚表現の歴史的な関わりを検証する。同時に、かつて「地下」資源で反映した産炭地が、エネルギー政策転換などで経済的苦境にある現在、炭鉱などを主題にした美術をはじめとする視覚芸術の「文化」資源化を提起する。Part-1.〈ヤマ〉の美術・写真・グラフィック：土門拳「筑豊のこどもたち」、萩原義弘「端島炭鉱(軍艦島)」(=下の作品)ほか。/Part-2.川俣正コールマイン・プロジェクト〜筑豊、空知、ルールでの展開 /Part-3.

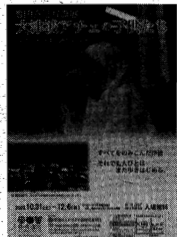
映像の中の炭鉱 上映作品：「にあんちゃん」(監督：今村昌平)、『三池 終わらない炭鉱の物語』(監督：熊谷博子)、『爆裂都市BURST CITY』(監督：石井聰互)ほか。

■Part-1、2：～12月27日(日)、東京都・目黒区美術館(目黒駅)。800円(一般) / 600円(大・高校生 / 65歳以上) ※小中学生は無料。目黒区美術館 03-3714-1201 http://www.mmat.jp / Part-3：11月28日(土)～12月11日(金)、東京都・ポレポレ東中野(東中野駅)。1200円(前売) / 1400円(当日・一般) / 1200円(当日・大学 / 専門学校生) / 1000円(中・高校生 / 60歳以上) / 700円(小学生) ※いずれも1回券。ポレポレ東中野 03-3371-0088 http://www.mmjp.or.jp/pole2/



豊田直巳写真展 写真

「大津波アチエの子供たち —スマトラ沖地震から5年—」



2004年12月26日、インド洋に面した国々で約23万人が犠牲となったスマトラ沖地震から5年。震源に最も近いインドネシア・アチエでは、地震と津波による死者・行方不明者約17万人という被害をもたらした。多くの犠牲者を出したインドネシア・アチエにおける、津波被害から復興までを見つめたフォトジャーナリストの写真約90点を展示。

■～12月6日(日)10時～18時(休館日：月曜、ただし11月23日は開館)、神奈川県・あーすぶらざ3階企画展示室(JR根岸線本郷台駅)。無料。21日15時～、22日13時～、会場で豊田のギャラリートークあり。(助かながわ国際交流財団 学習サービス課 045-896-2899 http://www.k-i-a.or.jp/plaza/news/20091031_tsunami.html)

中村正義展 美術

—美の秩序に挑んだ画家—

1924年、愛知県豊橋市に生まれた中村正義は36歳の若さで日展審査員となったが、伝統的な徒弟制度の中での作家活動に疑問を抱き61年に脱退。その後は、自らの内面世界を強烈な色彩と筆致で表現した〈顔〉や舞妓のシリーズなど、従来の美意識や秩序に挑むような自由で革新的な創作を試みた。一方で舞台や映画にも表現の世界を広げ、社会に対しても様々な問題を提起し続けた。本展では約65点の絵画を展示して画家・中村正義の足跡を振り返る。左は未完の作品(おそれC)。

■～12月12日(土)9時～17時(12月は9時半～16時半、休館日：月曜、ただし祝日の場合は翌平日)、埼玉県・原爆の図丸木美術館(東武東上線森林公园駅北口からレンタサイクルで20分)。900円(一般) / 600円(中学生) / 400円(小学生)。0493-22-3266 http://www.aya.or.jp/marukimsn/

info さんようぶんか
案内板

「誰がため」 試写会

デンマークの王国公文書館が当時の資料を長い間公開せず、語ることの許されなかった史実を六十余年経った今、実際に当時を知る関係者の目撃証言に基づき映画化。誰もが恐怖に身をすくめていた時代、ナチスに凜然と立ち向かった実在のレジスタンス、フラメンとシトロンの実在の物語。12月、東京都・シネマライズ他にて全国順次ロードショー。監督：オーレ・クリスチャン・マセン。キャスト：トウレ・リントハート、マッツ・ミケルセン。2008年 / デンマーク / 136分。

プレゼント20組 40名 下記の要領で開催される本作の試写会に抽選で20組40名の読者を招待します。ハガキに住所・氏名・電話番号を明記の上、小誌「誰がため」係宛てに11月30日(月)までに届くようにお送り下さい。抽選の結果は試写状の発送をもって代えさせていただきます。■12月7日(月)18時半～、東京都・一ツ橋ホール。



『まもれシモキタ! 通信』
第15号 2009.10.30
TEL03-5452-2015 FAX03-5452-2016 URL www.shimokita-action.net

A4判4ページ まもれシモキタ! 行政訴訟の会
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-9-19
植松第一ビル201 コモン法律事務所内

衆議院議員候補者へのアンケート結果
(略) 選挙に先立ち、(略) 三団体は、東京地区の立候補者にアンケートを行いました。(略) アンケート結果の全体 http://www.shimokita-action.net/見よ! じやんぽんす。(略)

署名活動を始めました
民主党新政権の発足に合わせて、鳩山由紀夫総理大臣宛に、間違った公共事業による破壊から下北沢を守り、歩いて楽しめる街の存続を求めます。との署名活動を、セイブ・ザ・下北沢、下北沢商業協議会、まもれシモキタ! 行政訴訟の会の三団体共同で始めました。行政が強引に進めようとしている新規道路建設と高層再開発計画の抜本的な見直しを求め、住民・商業者・来街者の燃えたいさる意志を表しましょう。(略)

非マスコミ紙誌から さんようぶんか